

作成日：2013 年 08 月 22 日

改訂日：2025 年 02 月 10 日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

1. 1 製品特定名 : ROD, PLT-PPS (NC) -SC [丸棒、板]
1. 2 製品の推奨用途と使用上の制限
  - (1) 推奨用途  
電気・電子、半導体の製造装置、工業用途の装置部品用材料など
  - (2) 使用上の制限  
医療用途、体内埋め込み用途には使用しないこと。  
食品に接触する用途に使用される場合は、その具体的用途および使用方法について、必ず事前にご相談下さい。
1. 3 供給者の詳細
  - (1) 会社名 : 東レプラスチック精工株式会社
  - (2) 住所 : 〒103-0021  
東京都中央区日本橋本石町 4 丁目 6 番 7 号 日本橋日銀通りビル 3 階
  - (3) 担当部署 : 品質保証部
  - (4) 電話番号・FAX 番号 :

|          |                  |                  |
|----------|------------------|------------------|
| 東京押出版売課  | TEL:03-3241-6816 | FAX:03-3270-5247 |
| 大阪押出版売課  | TEL:06-6443-9296 | FAX:06-6448-0372 |
| 名古屋押出版売課 | TEL:052-581-1516 | FAX:052-581-1839 |
| 海外押出版売課  | TEL:03-3241-6816 | FAX:03-3270-5247 |

### 2. 危険有害性の要約

2. 1 化学物質または混合物の GHS 分類  
本製品は JIS Z7252 : 2019 (GHS に基づく化学物質等の分類方法) に従い危険有害性に分類されません。
2. 2 GHS ラベル要素  
対象外
2. 3 GHS 分類に該当しない他の危険有害性  
この樹脂の乾燥および溶融加工時に際して有害ガスが少量放出され、目、鼻、喉が刺激されることがあります。これらの熱処理中は適切な局所排気を行ってください。  
気分が悪い時は医師の診断を受けて下さい。  
この樹脂が床にこぼれたら、滑らないようにすぐに清掃して下さい。  
荷崩れの起こる可能性がありますので、製品の積み上げ方にご留意下さい。
2. 4 重要な徴候および想定される非常事態の概要  
特になし

### 3. 組成、成分情報

- (1) 化学物質・混合物の区分 : 成形品 (アーティクル)
- (2) 化学名 (一般名) : ポリフェニレンサルファイド  
別名 (通称、略称) : ポリフェニレンサルファイド樹脂、PPS 樹脂
- (3) 組成・成分情報

A. 主成分

化学名 : ポリフェニレンサルファイド  
CAS No. : 26125-40-6、25212-74-2  
官報公示整理番号 : 7-1143 (化審法)

4. 応急措置

4. 1 必要な応急措置の説明

- (1) 吸入した場合 : 通常では該当しませんが、熱分解による発生ガスを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、回復を待ってください。回復しない場合には、医師の診断を受けてください。サンディング、研磨あるいは切断等の加工時に発生する粉塵を大量に吸入したことによって、咳や胸苦しさ等の呼吸器系の症状が生じた場合には、直ちに空気の清浄な場所へ移動してください。  
呼吸困難の場合には酸素を与え、直ちに医師の診断を受けてください。
- (2) 皮膚に付着した場合 :  
粉塵が付着した場合には石鹼と流水で十分に洗い流してください。高温樹脂が付着した場合には、直ちに清浄な水で冷却してください。皮膚に付着した場合は無理に剥がさず、十分に冷却してから速やかに医師の診断を受けてください。
- (3) 目に入った場合 : 速やかに流水にて15分間以上の洗浄を行ってください。眼をこすらないでください。洗眼は瞼を指で開いて行なってください。刺激等の異常が認められる場合には眼科医の診断を受けてください。
- (4) 飲み込んだ場合 : 誤飲した場合には、コップ1から2杯の水を飲ませて吐かせてください。

4. 2 最も重要な急性症状および遅発性症状

特になし

4. 3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

高温物を除去する場合は保護手袋を着用してください。

5. 火災時の措置

5. 1 適切な消化剤および使ってはならない消化剤

- (1) 適切な消火剤 : 水、泡沫消火剤（エアフォーム）粉末消火剤、炭酸ガス  
(2) 使ってはならない消火剤 : 知見なし

5. 2 化学品から生じる特有の危険性

火災および／または爆発の場合に、フュームを吸入しないこと。  
不完全燃焼すると炭酸ガスと水の他に一酸化炭素、硫黄化合物の有害なガスを発生するため注意を要します。

5. 3 特有の消化方法

水をかけて消火するのが良い。一般の火災と同じ消火法を用いてください。  
加工機には水をかけないようにしてください。

5. 4 消火を行う者の保護

消火作業従事者は必ず呼吸保護具と適切な保護具を着用してください。

## 6. 漏出時の措置

6. 1 人体に対する注意事項、保護具、および緊急時措置  
機械加工時の切屑や切粉を床にこぼした場合は、転倒の恐れがあるので、ほうきや掃除機等で全量回収して下さい。  
(廃棄方法は廃棄上の注意に従って行なう)。
6. 2 環境に対する注意事項  
細かい切屑や切粉は海洋生物、鳥類が摂取することを防止するために、全て回収して下さい。
6. 3 封じ込みと洗浄のための方法及び機材  
掃き集めて、容器に回収したのち廃棄まで保管してください。粉じんが飛散しないようにして下さい。
6. 4 二次災害の防止策  
付近の着火源となるものを取除いて下さい。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

7. 1 安全な取り扱いのための注意事項
  - (1) 技術的な対策
    - A. 取扱者の暴露防止 :  
サンディング、研磨あるいは切断等の加工時には、換気を行い、粉塵の吸入を避けるために、適切な呼吸保護具を着用して下さい。  
機械加工時、および熱処理時にはガスおよびフュームを吸入しないようにして下さい。ガス及びフュームの吸入を避けるために、適切な呼吸保護具を着用して下さい。  
作業後には、手や顔の洗浄やうがいを行なって下さい。  
作業着は常に清浄なものを着用し、粉塵が付着した衣類は再使用前に洗濯して下さい。  
機械加工時には切屑、切粉が目に入るのを防止するために、保護眼鏡を着用して下さい。また一般に機械加工のときに推奨されている保護具を着用して作業して下さい。
    - B. 火災・爆発の防止 :  
常温で引火、爆発の恐れはありませんが、近くで火気をみだりに使用しないで下さい。
  - (2) 局所換気・全体換気 :  
加工時に発生するガスおよびフュームを吸入しないで下さい。  
加熱時に発生するガスを排出するために有効な局所排気装置を設置して下さい。
  - (3) 安全取扱注意事項 :
    - A. 取扱い1 :  
製品を運搬する時は滑り易いので滑り止めの付いた手袋を着用し安全靴を必ず履いて下さい。
      - ①製品を一度に多量運搬する時には重量負荷を低減させる目的で、できるだけ助力装置を使用して下さい。
      - ②製品を投げたり、落下させると割れて飛散する可能性がありますので、丁寧に取扱い願います。
      - ③製品のエッジ部で手を切り怪我をする恐れがありますので、滑り止めの付いた手袋を着用して下さい。

[ROD, PLT-PPS (NC) -SC] [東レプラスチック精工(株)] [2025.02.10] [4/7]

## B. 注意事項 1 :

機械加工時、加工速度を極端に早くすると、製品が割れて飛散したり、加工面が溶融する可能性がありますので適切な条件で加工して下さい。  
もし溶融した場合は直接触れないで下さい。

## (4) 適切な衛生対策 :

取扱い後は、手洗い、洗顔、うがいを十分に行なって下さい。  
的確な工業衛生管理規則に則った換気及び清掃を実施して下さい。  
作業着は再使用の前に洗濯して下さい。

## 7. 2 混触危険性を含む、安全な保管条件

## (1) 技術的な対策 : 特に必要なし

## (2) 適切な保管条件 :

直射日光の当たらない、熱、発火源から離れた場所で保管して下さい。  
製品を立てかけて保管すると反りが発生するため、棚に水平に保管して下さい。  
市町村条例に従って取り扱って下さい。

## (3) 避けるべき保管条件 :

直射日光の当たらない、熱、発火源から離れた場所で保管して下さい。

## (4) 安全な容器包装材料 : 特に必要なし

## 8. 暴露防止及び保護措置

## 8. 1 管理パラメーター

## (1) 管理濃度 : 現在ありません。

## (2) 許容濃度 : 日本産業衛生学会、ACGIH(米国政府産業衛生専門家会議)はともに、PPS樹脂の粉塵に関する許容濃度は定めていませんが、一般的に次の値を運用するのが妥当と考えられます。

日本産業衛生学会勧告値(2024) 第3種粉塵

時間荷重平均値 : 吸入性粉塵 2mg/m<sup>3</sup>、総粉塵 : 8mg/m<sup>3</sup>

ACGIH勧告値(2021) 一般粉塵

時間荷重平均値 : 吸入性粉塵 3mg/m<sup>3</sup>、総粉塵 10mg/m<sup>3</sup>

## (3) DNEL(導出無影響量): 情報なし

## (4) PNEC(予測無影響濃度): 情報なし

## 8. 2 適切な設備対策

溶融時に発生するガスや、加工時に発生する粉塵で作業場が汚染されないように、局所排気および全体換気を適切に行って下さい。

粉塵を扱う場合は、粉塵爆発対策をした密閉容器を使用して下さい。

## 8. 3 個人保護具

## (1) 呼吸器用の保護具 :

機械加工、サンディング等の粉塵の発生する作業のときは 防塵マスクを着用して下さい。

## (2) 手の保護具 :

溶融した樹脂を取り扱う場合には、火傷防止のため、耐熱手袋を着用下さい。

## (3) 目の保護 :

機械加工、サンディング等の作業のときは 保護眼鏡、ゴーグル等を着用下さい。

## (4) 皮膚及び身体の保護具

溶融した樹脂を取り扱う場合には 火傷防止の為、長袖服、長ズボン、帽子を着用し露出部を可能な限りなくして下さい。

必要に応じて腕力バーや保護面を使用して下さい。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 9. 1 基本的な物性的及び化学的性質に関する情報

#### (1) 外観

A. 物理的状态 : 丸棒、板状固体物

B. 色 : 淡い茶色

(2) 臭気 : 常温ではなし。

(3) 臭気の閾値 : データなし

(4) pH : 対象外

(5) 融点／凝固点 : 275～285℃

(6) 沸点／沸点範囲 : データなし

(7) 引火点 : 400℃以上。

(8) 蒸発速度 : 対象外

(9) 燃焼性(固体、気体) : データなし

(10) 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : 文献に知見なし

(11) 蒸気圧 : データなし

(12) 蒸気密度 : データなし

(13) 比重 : 1.35～1.36

(14) 溶解度 : 水／不溶

(15) オクタノール／水分配係数 : 対象外

(16) 自然発火温度(発火点) : 500℃以上。

(17) 分解温度 : データなし

(18) 粘度 : データなし

(19) 爆発性 : データなし。

(20) 酸化性 : なし

### 9. 2 その他情報

情報なし

## 10. 安定性及び反応性

### 10. 1 反応性 :

一般的な保管、取扱いでは安定で反応性はありません。

### 10. 2 化学的安定性 :

予期される通常の保管および取扱い条件において安定と考えられる。

### 10. 3 危険有害反応可能性 :

予期される通常の保管および取扱い条件において安定と考えられる。

### 10. 4 避けるべき条件 :

高温、火気、熱源など。

### 10. 5 混触危険物質 :

特になし

### 10. 6 有害な分解生成物 :

不完全燃焼時には、一酸化炭素、硫黄化合物の有害なガスを発生するため注意を要します。

## 11. 有害性情報

(1) 急性毒性 : 分類できない(記載すべきデータはない。)

(2) 皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない(記載すべきデータはない。)

(3) 目に対する重篤な損傷／刺激性 : 分類できない(記載すべきデータはない。)

(4) 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 分類できない(記載すべきデータはない。)

(5) 変異原性(生殖細胞変異原性) : 分類できない(記載すべきデータはない。)

- (6) 発がん性 : 分類できない(記載すべきデータはない。)
- (7) 生殖毒性 : 分類できない(記載すべきデータはない。)
- (8) 特定標的臓器/全身毒性 - 単回暴露 : 分類できない(記載すべきデータはない。)
- (9) 特定標的臓器/全身毒性 - 反復暴露 : 分類できない(記載すべきデータはない。)
- (10) 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない(記載すべきデータはない。)
- (11) その他の有害性 :  
加工時に発生した粉塵は、日本産業衛生学会及びACGIHで最大許容濃度、  
限界値が決められています。  
分類できないとした項目についても、現時点で入手できるデータにおいて、健康および環境に対する有害性が報告された事例はない。

## 1 2. 環境影響情報

### 1 2. 1 毒性

- (1) 急性毒性 : データなし
- (2) 慢性毒性 : データなし

### 1 2. 2 残留性と分解性 : データなし

### 1 2. 3 生物蓄積性 : データなし

### 1 2. 4 土壌中の移動性 : データなし

### 1 2. 5 オゾン層への有害性 : データなし

### 1 2. 6 その他有害影響 : データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

### 1 3. 1 廃棄方法

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)の産業廃棄物、廃プラスチック類に該当します。廃掃法に従って産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体が処理を引き受けている場合は、地方自治体に委託して処理して下さい。

焼却処分する場合は、管理された焼却設備を用いて、廃掃法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法に沿って処理処分して下さい。

## 1 4. 輸送上の注意

### 1 4. 1 国連番号、国連分類 : 該当しない

### 1 4. 2 国連出荷名 : 該当しない

### 1 4. 3 輸送時の危険性クラス : 該当しない

### 1 4. 4 容器等級 : 該当しない

### 1 4. 5 環境有害性 : 該当しない

### 1 4. 6 使用者のための特別予防措置 :

直接日光や風雨にさらされないようにカバーをしてください。梱包袋が破れないように乱暴な扱いを避けて下さい。高く積載するときは、荷崩れしないように取扱って下さい。

### 1 4. 7 MARPOL 73/78 付属Ⅱおよび IBC Code によるバラ積輸送される液体物質 : 該当しない

### 1 4. 8 輸送上の国内規制 :

陸上輸送、海上輸送、航空輸送ともに該当しない

### 1 4. 9 輸送上の安全対策および条件 :

製品の破損がないように、投げたり落下させる等の乱暴な取扱いは行わないで下さい。高く積載するときは、荷崩れしないように取扱って下さい。

また、直射日光や風雨にさらされないようにカバーをして下さい。

### 1 4. 10 緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

## 15. 適用法令

(1) 廃棄物処理法 : 産業廃棄物 廃プラスチック類

(2) 労働安全衛生法

通知対象物 : 該当しない。

表示対象物 : 該当しない。

この製品に関する貴国の規制については、貴社の責任で調査願います。

## 16. その他の情報

最新版改定日と変更箇所

改訂日 2025 年 2 月 10 日

改訂項目 JIS Z 7252 : 2014 から 2019 に変更、その他文言等修正

責任の限定について :

製品安全データシートは、当該製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の通常の手扱いを前提として作成しています。特別な手扱いについては、用途、用法に応じた安全対策を施してご使用願います。

以 上